

家族でコミュニケーションを

ポイント

- 家族と一緒に時間が、子どもに安心感や人への信頼感、感謝や思いやりの心を育てます。
- 家族との会話やかかわりの中で、コミュニケーション力や社会性が育ちます。
- 家族一緒に自然や実物に触れる機会が、豊かで温かい感情を育みます。



多可町では毎月第3日曜日を
「家庭の日」と定めています。



大切にしたいこと



多可町では
「あったかあいさつ運動」
を行っています。

- あいさつは、コミュニケーションのはじまりです。まずは「おはよう」や「ありがとう」の声かけから。
「いっしょにあいさつしようね」など、大人があいさつを見せましょう。
あいさつを地域でもするようになると、地域の防犯意識も高まります。
- 1日のどこかで「子どもの話を聞く」時間をとりましょう。保護者が「あなたの話を聞くよ」という思いをもって、子どもの意見・感情を肯定的に聞きましょう。意見が違う場合でも、まずは、話を聞いてから、思いを伝えましょう。
- 家庭でお手伝いをさせましょう。お手伝いをすることで、自分は役に立っている人、必要な人と思え、自己有用感を高めます。できたときには「助かったよ。ありがとう」等ねぎらいの言葉をかけましょう。
- 地域の中で子どもたちは育っていきます。地域のお祭りに参加したり、世代間交流をしたり等、地域と交流をもちましょう。

